

POINT



多自然川づくり対応 大型ブロックマット(環境型連節ブロック)

●ワイヤー連結ブロックマット工法

J・B・Mは、法面保護資材として従来工法と同等の強度・一体性を確保しなくてはなりません。マットとマットを縦方向・横方向に連結し、一つの構造物として法面を保護します。

J・B・Mは、350kg/㎡であり、8m/s以下の河川に経済的な護岸設計ができます。

▶ 張りブロック

J・B・M ジャンボ・ブロック・マット

● NETIS 登録 No.CB-990040-V

● 水理特性値証明(護性証 No.0074)

特徴

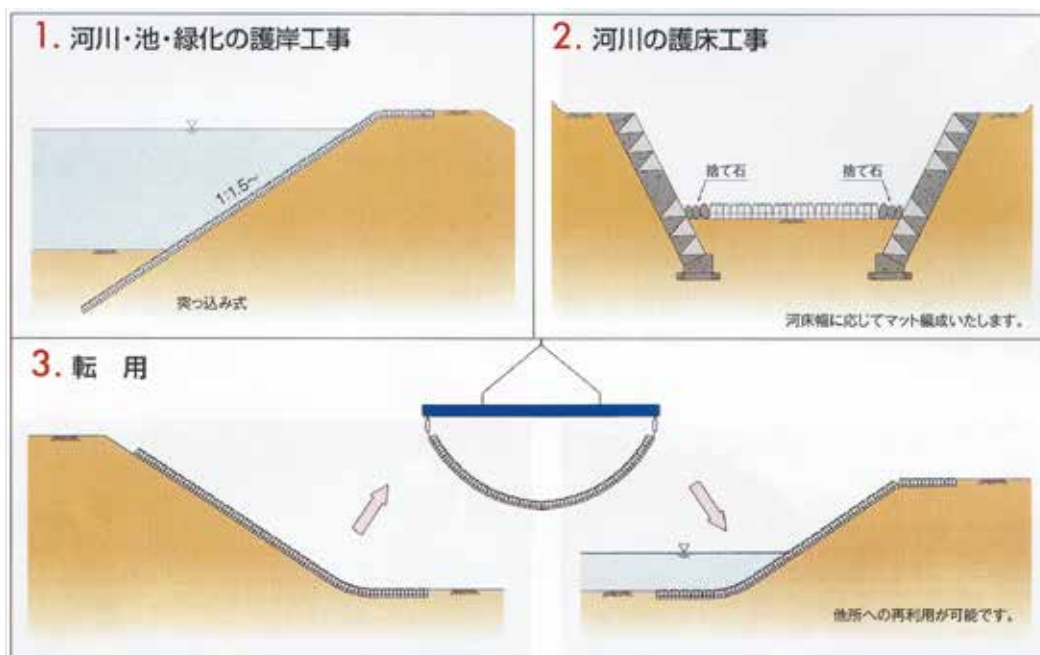
- ① クレーン施工により従来の工法に比べ作業の合理化ができ **工期の短縮**による**工事費の低減**ができます。
- ② 従来製品と同等の強度と重量です。最大のマットの長さ**9m**、面積は**5.4㎡**、重量は**350kg/㎡**以上で**2.5t強**になります。
また、ブロックを連結するワイヤー(亜鉛-10%アルミ合金メッキ)は自動車道路の防護柵や、落石防止柵にも使用され、機能性と高い耐久性を持っています。
- ③ **浸食防止に最適**であり、様々な条件の下で使用していただけます。
◆ フレキシブルで地盤によくなじみ、水中施工も可能です。(水深1.5m程度)
※担当者へお問い合わせください。
◆ 目地幅の調整により、曲面部での施工が容易です。
◆ ワイヤー連結により長大な法面での施工が可能です。
- ④ 深目地部に客土を施すことにより、法面の全面緑化が可能です。又、客土の流出がおこりにくい形状となっています。
- ⑤ 透水性に優れているので、雨水などの地下水への還元が容易で、**自然に植物が再生**でき、周辺環境の保全を図ります。
- ⑥ 他現場への**転用が可能**(現場状況により異なります)でコスト低減・省資源に役立ちます。

明度証明

明度 4.0



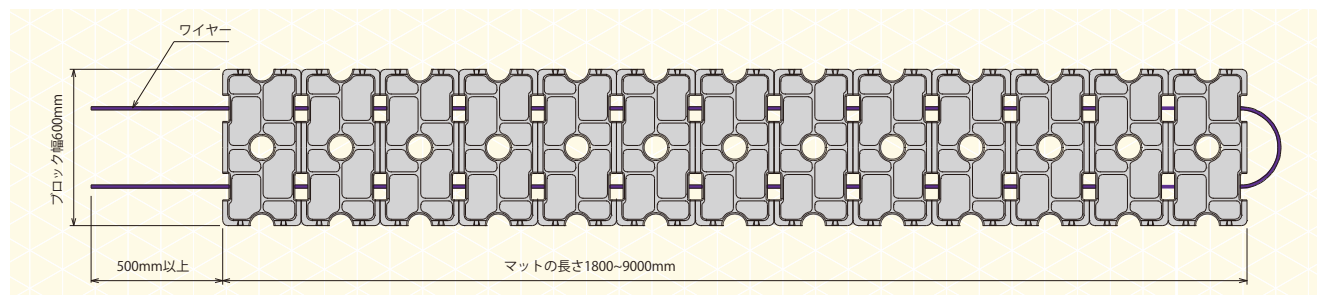
用途



製品図

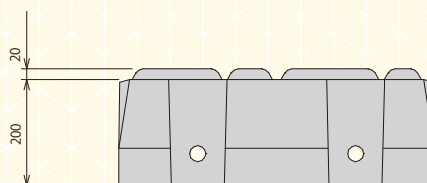
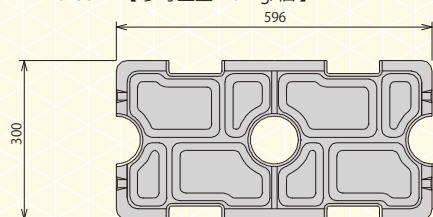
◆ ワイヤー連結工法

※マットの長さは工場にて調整致します。

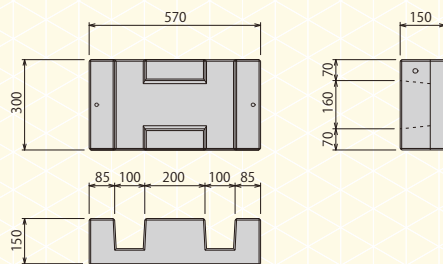


◆ ブロック形状

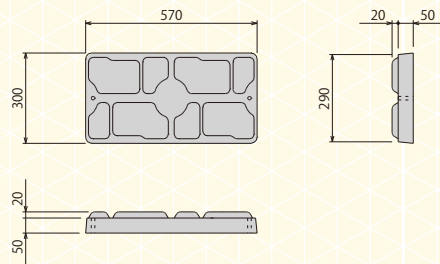
▼ ブロック本体 【参考重量 67kg/個】



▼ ジョイント用ブロック本体 【参考重量 39.0kg/個】



▼ ジョイント用ブロック蓋 【参考重量 20.7kg/個】



◆ 諸元表

タイプ	規格寸法 (W×L×H)	重量 (kg/㎡)	中詰土量 (㎡/㎡)	表面形状	分類
220 型	600×1,800~9,000×220	350以上	0.043	ポーラス	連節・張工

ワイヤー

◆ 耐久性

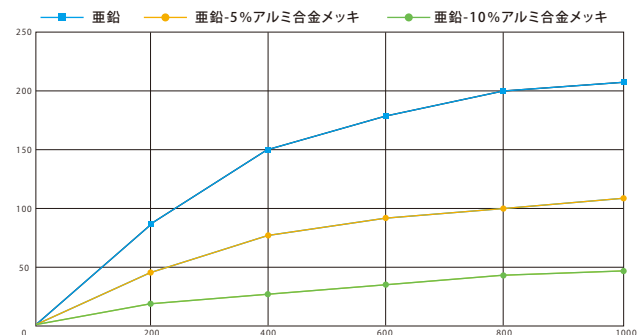
- ・ワイヤーの耐久性を増す為に一般的な亜鉛メッキを付着させます。
- ・耐用年数については使用環境により次式のように計算できます。

$$\text{耐用年数} = \frac{\text{亜鉛付着量 (g/㎡)}}{\text{腐食減量 (g/㎡/年)}} \times 0.9$$



ワイヤーの耐食性は、メッキの種類、付着量、使用条件によって異なります。

塩水噴霧実験による亜鉛、亜鉛-5%アルミ合金メッキ、亜鉛-10%アルミ合金メッキ



- 1) 亜鉛-5%アルミ合金メッキは亜鉛メッキの1/3以下の腐食減量を示す。
- 2) 亜鉛-10%アルミ合金メッキは亜鉛-5%アルミ合金メッキに比べ腐食減量が少なく実用上での耐食性も大幅に優れる(約2倍)と判断される。

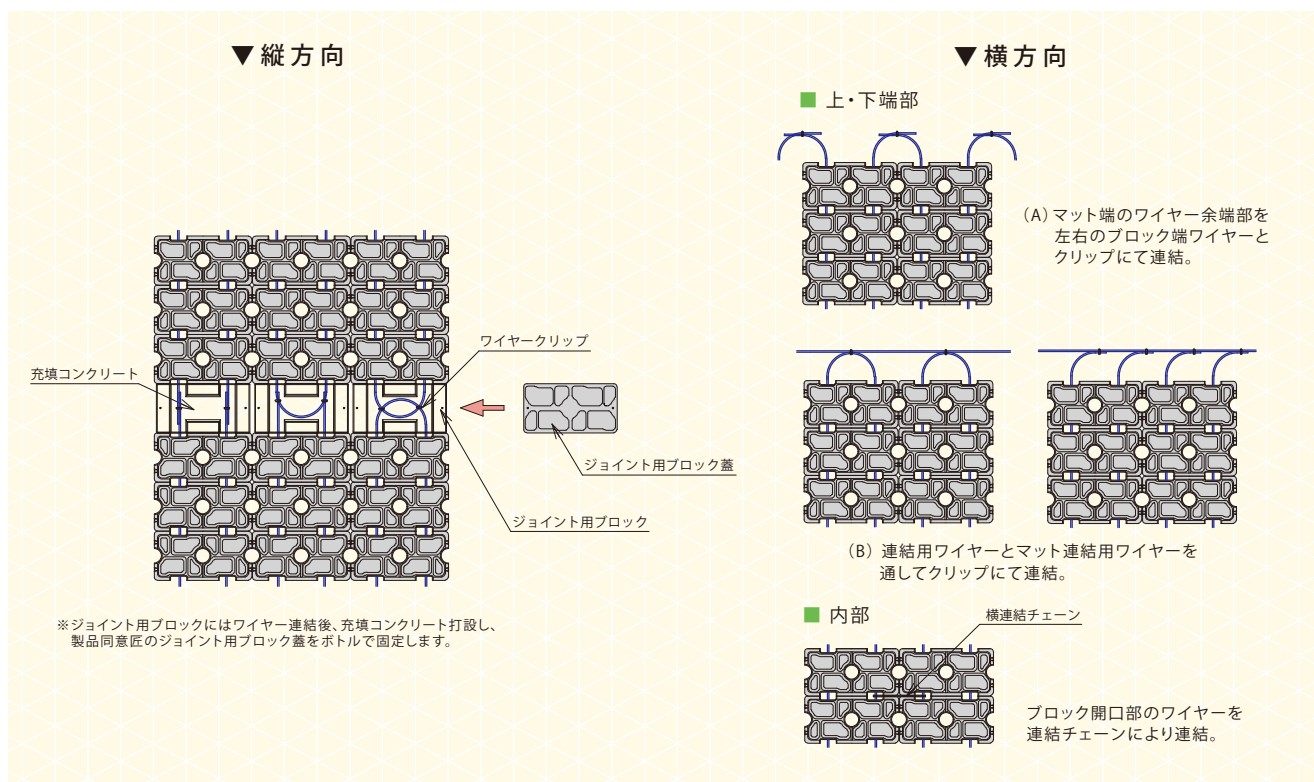
メッキ鋼板の暴露試験結果

暴露環境	亜鉛メッキ		亜鉛-5%アルミ合金メッキ	
	腐食減量 (g/㎡・年)	耐用年数 (300g/㎡品)	腐食減量 (g/㎡・年)	耐用年数 (300g/㎡品)
都市工業地帯	9.3	29	7.5	36
田園地帯	4.5	60	6.0	87
海岸地帯	11.1	24	8.3	33

※試験場所：都市工業地帯：横浜市鶴見区
田園地帯：奈良県桜井市桜町倉橋
海岸地帯：沖縄県糸満市西崎町

連結方法

- ◎ J・B・Mは、法面保護資材として従来工法と同等の強度・一体性を確保しなくてはなりません。
マットとマットを縦方向・横方向に連結し、一つの構造物として法面を保護します。
- ◎ ジョイント用ブロックを使用し、J・B・Mワイヤー余端部をはめ込み、クリップで連結。
必要に応じて生コンを打設することで、法長12m以上長大法面での一体性を確保できます。



施工手順



① 法面整形



② 吸出防止材又は遮水シート布設



③ 専用吊り金具にてマット布設



④ 微調整 (必要に応じて)



⑤ 上下端連結処理 (ワイヤークリップにて)



⑥ 横方向連結 (連結チェーンにて)



⑦ 施工完了



⑧ 覆土



⑨ 張芝

参考歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
J・B・M(ジャンボ・ブロック・マット)		m ²	100	
吸出防止材または遮水シート		m ²	100	(注)2
ジョイント用ブロック・連結チェーン			50	(注)3
ラフテレーンクレーン	25t～	日	0.45	(注)4
世 話 役		人	0.5	
特 殊 作 業 員		人	0.5	
普 通 作 業 員		人	1.9	
諸 雑 費		式	1	

100m²当り

(注) 1 施工量や現場状況等により上記と異なる場合があります。
 2 吸出防止材はマット接着も可能です。
 3 縦・横方向の連結は、必要に応じて別途計上願います。
 4 クレーンは25t以上を標準としていますが、マットの長さ・重量、現場の状況に応じて機種の選定をお願いします。
 5 マットのずれ防止の安定工法が必要な場合は別途計上願います。
 6 水中施工は別途見積りとなります。

※1 日当り 200m²施工可能
 直線部標準マット(マット長6m)施工時

施工写真



宮崎県(祝子川)



熊本県(藻器堀川)



佐賀県(桐岡川)



佐賀県(松浦川)



福岡県(遠賀川)



福岡県(穂波川)

新製品

擁壁

積みブロック

張りブロック

ボックスカルバート

側溝・道路用製品

人孔・集水桝

その他